

①知識・理解

②思考・判断

③関心・意欲

④態度・規律

⑤技能・表現

⑥専門性

ディプロマ・ポリシー：〔英語コミュニケーション学科〕：学士（言語コミュニケーション学）

1. 社会の様々な分野において使える英語能力を有する。
2. 国際社会の多様な場面で通用する適切なコミュニケーション能力を有する。
3. 外国の言語の背景にある文化や歴史、文学などについても基礎的な知識を有する。

4年次

3年次

2年次

初年次

基礎教育分野

教養コア科目 人間と文化・現代社会・自然科学と環境・健康とスポーツ
言語スキル科目（英語・その他の外国語・留学生日本語）
キャリア形成支援科目・プロジェクト科目

演習

専門演習 / 卒業論文

専門演習

基礎演習

400番台

300番台

200番台

100番台

卒業研究
専門科目
English Linguistics
Cross-Cultural Communication

専門科目
言語学分野・英米文学分野
英語通訳法・日英報道研究
地域研究分野・英語教育分野
ビジネス分野

3つの専門コース

言語と文化

英語教育

英語ビジネス

専門基礎科目

言語学分野・英米文学分野
コミュニケーション学分野
国際関係分野・地域研究分野
英語教育分野・ビジネス分野
観光学分野

英語スキル科目（4スキル）・外国語スキル科目
インターンシップ入門・観光まちおこしワーク
ショップ入門／実践・留学準備（ASP Prep）

**言語コミュニケーション学部
英語コミュニケーション学科
カリキュラム・ポリシー**

1. 初年次に大学での学修の基礎を身につけるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学びます。
2. 「基礎教育分野」では、国際人として必要な知識・理解を多角的な学修で磨き、基礎的な教養と幅広い知識を身につける多様な科目を配置します。
3. 「言語スキル科目」では、ネイティブ教員による少人数で実践的な英語力の修得を目指す科目を中心に、英語以外の外国語科目で、多言語の修得を目指します。
4. 学修方法の特徴として、能動的な学修方法を積極的に取り入れ、社会の現場における課題に果敢に取り組む実践力のある人材を育てるための科目を配置します。特に、「自由選択科目」では、ワークショップ型の科目を中心に配置します。
5. 専門教育分野は、「演習・卒業研究」「言語学／文学」「グローバル・スタディーズ」「英語教育」そして「英語ビジネス」の5エリアで構成し、本学部の示す「言語と文化コース」「英語ビジネスコース」の3つの履修モデルコースと組み合わせることで学生のキャリアや関心に合わせた科目履修を可能とする構成を行います。

アドミッション・ポリシー：〔英語コミュニケーション学科〕

1. 大学での学修および活動に積極的に取り組む意欲と行動力を有する。
2. 高校での授業および活動などを通じて、基礎的な学力と基本的な学修態度を身につけている。
3. 学部が重視する英語教育に取り組むための基礎的な能力を有する。
4. グローバル化社会に興味を持ち、多様な社会の理解に努める意欲と行動力を有する。
5. 国際社会におけるコミュニケーションに興味と意欲を有する。